



花の美しさに甘えず、花壇も美しくしなまやね

どんぐりの森の活動斜面に花壇を改修&新設

①あきよ花壇（階段状花壇）の修復

どんぐりの森の入口の階段状花壇（あきよ花壇）の造作は、ハナモモ植樹（2017年）より早い2016年5月。素朴で味がある手作り花壇も老朽化が目立ち、崩れかかった部分の修理が追いつかない状況になってきました。そこで10月末から3列ある花壇のうち1列を崩して造り直すことに。現在腕利きのメンバー達が造作中です。



2016年5月 木板と木杭で花壇造作開始



最近は階段部の腐食が特に目立ち、修繕が必須



プロ仕様の機材を用い、見栄え良く頑丈に

②北斜面上の平地に円形花壇新設

この場所は茶話会などを行うスペース。
 内径50cmの円形花壇を4基造りました。



あきよ花壇に自然生えのキンセンカとノースポールを移植

③北斜面上フェンス沿いに花壇新設

②の円形花壇のそば、駐車場のフェンス際には今までも
 色々な花を植えていましたが、花壇として整備しました。



以前は丸太で目印をつけただけ。今回はブロックを並べて美しく。

さて「秋の里親大作戦」



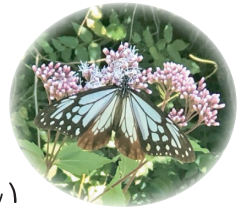
結果は怎么样了!?

前号で「チャレンジします」と告知した同作戦。春の花の種をポットに蒔きメンバー他の各家庭で苗にまで育て、花壇に定植しようという企画でした。ところが園芸家のエキスパートYさんのご指導も頂いたのに、「芽が出ない」「大きにならない」と泣き言が続々。それでも市から提供された花苗と共に花壇に定植できるまでには成長！まずは成功と…言えるかな??



秋の花壇に「旅する蝶」の飛来を期待して

アサギマダラ
(石尾台で撮影)



ハナモモ斜面など当会の活動場所では、四季折々の草木を育てる楽しみを生み出してきました。とは言うものの秋はあきよ花壇でコスモスを育てていたのを、花壇の土を少し休ませようと2年前に休止しています。そのため秋の彩りが物足りない状態でした。

そんな折、石尾台地区に植栽されている秋の七草・フジバカマに「旅する蝶」と言われている美しいアサギマダラが飛び交う姿を目にして、この情景をハナモモ斜面にも創り出したいと考えました。

秋に南方へ（遠くは台湾まで海を渡って）移動するアサギマダラのオスは、メスを引き寄せるフェロモンを含有するフジバカマの蜜を好んで吸いにくるそうです。またこの蜜の持つ毒性は天敵除け効果もあるとか。

この想いを当会のFacebook（ハンドルネームは「花咲か作戦」）にアップすると、長野県や東海地方に多くの太いつながりをお持ちの当会の賛助会員・長澤さんがコメントを下さったので、寄稿をお願いしました。

【寄稿】ハナモモ桃源郷とアサギマダラ

長澤貞夫（信濃大町観光大使）

早朝登山、弥勒山はじめ春日井5山（岳）のうち体力度1の西高森山、90歳のご婦人ご夫婦との出会いをはじめ、岳好き・体力維持など多くの方々との楽しい繋がりが。

小生「岳の町大町」（北アルプスの登山案内図）を出会いの皆様に配付、登頂された岳の話に花が咲きます。

自然豊かな春日井市東部丘陵に位置するこの「西高森山」に隣接する「築水の森」に、「アサギマダラ」が飛翔の情報!!

情報のきつかけは「花咲か作戦」（桃源郷プロジェクトリーダーの糟谷さん）のフェイスブック投稿『近所のフジバカマの植え込みに「旅する蝶」のアサギマダラがやってきました。ハナモモ斜面にフジバカマ植えたらやってくるかしら♪』で飛翔するアサギマダラを見事に捉えた写真をアップ。

私も「ハナモモ斜面にフジバカマいいですね!!ふるさと長野県大町市青木湖畔では長年フジバカマを植栽、毎年沢山のアサギマダラがやってきます。宮田村アサギマダラの里等も・・・」とコメント。

「ハナモモ桃源郷」、秋の花がほぼないハナモモ斜面四季を通し、ハナモモ、ひまわり、そして秋はフジバカマにアサギマダラ!!ニュータウンの魅力、夢が膨らみますね。

ハナモモのリレーに続きフジバカマの株のリレー



長澤さんが長野県上伊那郡宮田村「アサギマダラの里」から160株ものフジバカマを譲り受けて届けて下さいました。宮田村では2014年にフジバカマを植え始め、毎秋何百頭ものアサギマダラが美しく乱舞する姿を見られるそうです。

ところでかの地のフジバカマは長野県大町市から株分けされた花。そして大町市は京都市で発見された日本古来の原生種（準絶滅危惧種）を譲り受けたとのこと。宮田村ではその後他種との交配が進んだ可能性も考え「野生種」と称していますが、一般によく見られる園芸種とは一線を画す血統の良いフジバカマです。

京都～信濃大町～宮田村～高蔵寺と受け継がれた貴重な株のリレー。誇らしくも身の引き締まる思いです。12月3日、春の花苗とフジバカマ株の移植を実施。当日は中日新聞の取材も入りました。

フジバカマ



どんぐりの森フェンス際の新設花壇に移植（手前は春の花苗）。長澤さんは当日に合わせ看板も製作して下さいました。

パンジー・ビオラ・ノースポール・ワスレナグサ



市提供の苗270鉢、メンバーが育てた苗約100鉢、加えて花壇に自然生えた苗も植え替え、春には色とりどり咲き乱れる予定